

# 連結中期経営計画とCSRの推進

コスモ石油グループでは、劇的な経営環境の変化に対応するため、2010年度を初年度とする3カ年の連結中期経営計画および連結中期CSR計画を策定し、さらなる企業価値の向上をめざしていきます。

### 第3次連結中期経営計画：2009年度活動のハイライト

石油精製販売事業の  
収益力の再強化

成長戦略の  
早期決定

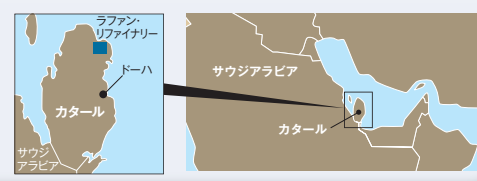
**第3次  
連結中期経営計画  
(2008~2009年度)**  
収益基盤の再構築と  
次の成長への布石

IPICとの  
提携シナジー追求

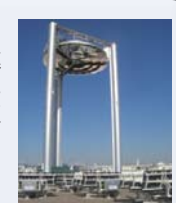
新規事業

**CSR経営の推進**


**2009年9月**  
当社出資の製油所、  
カタール国ラファン・  
リファイナリーでの生  
産を開始




**2009年10月**  
UAE (アラブ首長国連  
邦)のアブダビ首長国に  
て集光太陽熱発電実証  
実験プラントが完成




**2009年11月**  
ヒュンダイオイルバンク(株)との  
パラキシレン事業合弁会社設立



**2010年3月**  
エコ・パワー(株)の株式を取得し、  
風力発電事業へ本格参入



**2010年2月**  
堺製油所で進めてき  
た重質油分解装置  
群の建設が完了



## 第2次連結中期CSR計画の2009年度取り組み状況

※達成度：○達成 △一部達成 ×進捗なし

重点項目	主な目標	2009年度の活動総括	評価
グループ連結でのCSR推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実践度向上のための組織体制</li> <li>CSR推進委員会で活動を総括し、グループ全体の実践度を向上</li> <li>■企業行動指針および社内制度の再整備と浸透</li> <li>企業行動指針の認識度・理解度向上</li> <li>リスク/内部統制への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSR推進委員会において2009年度CSR活動の実績および課題を確認するとともに、2010年度以降の活動方針を了承</li> <li>・CSR調査(2009年3月実施)の結果等を踏まえた企業倫理研修の実施など企業行動指針等の認識度・理解度向上に向けた内部統制活動を展開</li> </ul>	○
安全管理体制の構築 (第2次連結中期安全計画) ⇒詳細はP.22を参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部門別目標</li> <li>A)製造部門(石油・石油化学):不安全不具合の発生件数をベース年比90%以上削減(2010年目標)</li> <li>B)製造/基地部門(潤滑油・ガス):危険物・可燃性ガスの漏えい削減</li> <li>C)物流部門:混油・漏油・交通事故の削減、労働災害ゼロの継続など</li> <li>D)販売・その他部門:SS工事における労働災害ゼロの継続など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造部門:ハード/ソフト両面の安全管理活動の定着により不安全不具合の発生件数が減少:08年143件→09年126件</li> <li>・ガス部門における事故・トラブル:0件</li> <li>・油槽所における労働災害、火災:0件、漏えい事故:1件</li> <li>・陸上輸送における混油事故:6件</li> <li>・海上輸送における漏えい:2件、座礁事故:0件</li> <li>・販売部門(SS)における労働災害:0件</li> </ul>	△
人権/人事施策の充実 (第2次連結中期人権/人事計画) ⇒詳細はP.24を参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループ共通テーマ</li> <li>①参画意識の向上</li> <li>②多様性尊重、機会均等</li> <li>③人材の育成、能力開発</li> <li>④心身のヘルスケア増進</li> <li>⑤職場と家庭の両立支援</li> <li>⑥雇用の安定、再就職支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権研修の日勤者受講率向上:08年度70%→09年度77%</li> <li>・プリセット休暇の定着などにより日勤者の有給休暇取得が増加</li> <li>・育児休暇取得者6名(女性取得率100%)</li> <li>・全社平均の日勤者総労働時間は1,900時間/年となり目標を達成</li> </ul>	○
環境対応策の推進 (第3次連結中期環境計画) ⇒詳細はP.28を参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>■環境効率の改善</li> <li>①地球温暖化の対策</li> <li>②環境負荷の最小化</li> <li>■環境経営の強化</li> <li>③環境配慮型の事業展開と技術開発</li> <li>④環境情報共有化と情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4製油所のエネルギー消費原単位は前年度より改善したが、需要減退の影響を受け2010年度の削減目標は達成困難</li> <li>・社有車燃料を除き、コピー用紙、オフィス電力の削減目標を達成</li> <li>・産業廃棄物の削減目標を達成</li> <li>・一重殻タンクを有するSSの土壌調査を計画どおり実施</li> <li>・風力発電事業へ本格参入</li> </ul>	△
ステークホルダーとの関係強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会・環境貢献活動におけるコミュニケーション強化</li> <li>・地域社会における社会・環境貢献活動の強化</li> <li>・コスモ石油エコカード基金の参加型プロジェクトの強化</li> <li>■ステークホルダー・コミュニケーションの充実</li> <li>・双方向コミュニケーションの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーン・キャンペーンの参加者合計16,817名、クリスマスカードプロジェクトのカード枚数1,515枚。また、コスモ石油エコカード基金による活動として12プロジェクトを継続して支援</li> <li>・個人株主を対象としたアンケートを実施し約7,300名から回答を収集(前年比約1,300名増)。このほか、「ココロも満タンに」宣言活動においてCSR診断のポイントが前年度より改善</li> </ul>	○

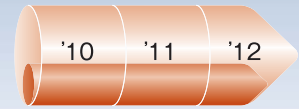
## 第4次連結中期経営計画の策定にあたり

コスモ石油グループを取り巻く経営環境は、原油価格の変動や、リーマン・ショックなどの影響による需要回復の大幅な遅れにより、先の見通しを立てにくい状況となっています。そのような環境の変化に即応すべく2010年度を初年度とする新しい連結中期経営計画を策定しました。あわせて、その基本方針のひとつとしてCSR経営・環境経営を継続・推進していくにあたり、第3次連結中期CSR計画(2010-2012年度)を策定しています。

第3次連結中期経営計画  
(第2次連結中期CSR計画)



第4次連結中期経営計画  
(第3次連結中期CSR計画)



## 第4次連結中期経営計画 基本方針と収益・財務目標

### 基本方針 ①

石油精製・販売事業での利益回復の実現

### 基本方針 ②

石油化学、石油開発事業によるポートフォリオの拡充

### 基本方針 ③

CSR経営・環境経営の継続と推進

	連結経常利益	連結経常利益 (在庫影響除き)	ROE	自己資本比率	D/Eレシオ	ネット D/Eレシオ
2009年度 実績	364 億円	▲ 162 億円	▲ 3.3%	19.2%	2.5 倍	1.7 倍
2012年度 目標	650 億円	650 億円	9.1%	25.4%	1.6 倍	1.3 倍

### 基本方針 ①

「石油精製・販売事業での利益回復の実現」

#### 1. 合理化計画

- ・要員スリム化
- ・「安全」と「保全費低減」の両立

#### 2. 石油精製

- ・重質油分解装置群の最大活用による「原油調達コストの低減」と「プロダクトミックスの改善」
- ・製油所の適正稼働による需給調整機能の最大限発揮

#### 3. 国内石油販売

- ・販売油種構成の改善
- ・流通、元売双方における適正マージンの確保

#### 4. 海外石油販売

- ・アジア、環太平洋での安定販路拡大

### 基本方針 ②

「石油化学、石油開発事業によるポートフォリオの拡充」

#### 1. 石油化学事業

- ・MX(ミックスキシレン)製造装置新設 (30万トン/年)
- ・PX(パラキシレン)装置建設着手 (80万トン/年)

#### 2. 石油開発事業

- ・アブダビ石油(株)の利権更新
- ・カタール石油開発(株)「A構造南部油田」の商業生産開始
- ・豪州オーデイシャス、テネイシャス油田の早期生産開始

#### 3. 環境・再生可能エネルギー事業

- ・ALA:商品化の加速と販売力の強化
- ・風力発電:エコ・パワー(株)株式取得による本格参入
- ・太陽光発電:ポリシリコンの低コスト製造技術確立
- ・集光太陽熱発電:事業化の可能性検証

### 基本方針 ③

## 第3次連結中期CSR計画(2010-2012年度)

	重点項目	テーマ	主な活動施策・目標
第3次連結中期CSR計画	CSR推進体制の機能向上	実践度向上のための組織体制の強化	CSR推進責任者/担当者の選任および役割の再確認によるグループ全体のCSR推進体制のレベルアップ
		企業行動指針の認識度・理解度のさらなる向上	・定期的な社内研修の継続 ・モニタリング(CSR調査)の実施
		社規・マニュアル類に準拠した適正かつ効率的な業務の推進	・社内インフラの活用などによる業務の平準化・簡素化および情報管理強化
		危機管理体制の再構築	・全社横断的なリスク洗い出しおよび対策策定の継続 ・教育訓練(BCP)の継続実施
安全管理の強化 (第3次連結中期安全計画)	事故削減の定量目標を設定し実績を評価・改善することで安全レベルの向上を図る	<製油所・コスモ山石油> 事故ゼロの達成・維持(2010年:不安全不具合発生件数のベース年比90%以上削減)	
		<その他部門(各事業所/グループ会社)> ・労働災害ゼロ/削減・事故・トラブルゼロ/削減など、具体的目標に向けた安全管理活動の維持・発展	
人権/人事施策の充実 (第3次連結中期人権/人事計画)	人権尊重/ハラスメント防止、差別意識の撤廃 多様性尊重・機会均等:公正な採用を継続 心身のヘルスクエア増進:過重労働の禁止、特定健康診断の実施 職場と家庭の両立支援: 育児・介護休職推進、余暇活動支援	人権研修の日勤者受講率80%以上	
		障がい者雇用率の維持向上	
		長時間勤務者の漸次削減	
環境対応策の推進 (第4次連結中期環境計画)	事業継続を踏まえた地球温暖化防止への戦略的対応	・2012年度において現在の事業領域(原油生産、原油輸送、精製および製品輸送・貯蔵)における排出量の約3%に相当する22万t-CO <sub>2</sub> /年以上のCO <sub>2</sub> 削減(施策実施前との比較。風力発電事業によるCO <sub>2</sub> 削減寄与を含む)	
		・製造部門、製品輸送・貯蔵部門、オフィスおよび研究部門における温室効果ガスの定量管理	
		・通常運転、非定常作業時等における環境課題の抽出と対策の実施 ・産業廃棄物削減:最終処分率目標の達成(コスモ石油:0.5%未満、対象会社計:5.0%未満) ・内部監査・外部監査の充実による環境管理の徹底 ・土壌環境対応の徹底 ・エコオフィス活動の推進(グループ全体:コピー用紙▲9%、社有車燃料▲6%、オフィス電力▲7% ※2007~2009年度の実績平均比) ・グリーン購入の推進	
環境貢献活動の推進	・コスモ石油エコカード基金を通じた環境貢献活動の推進 ・生物多様性の保全		
社会に応える コミュニケーション活動の推進	ステークホルダーからの評価を踏まえた効果的なコミュニケーション活動の実現	お客様、地域社会、株主・投資家、国際社会など、 さまざまなステークホルダーに対するコミュニケーション活動を継続	

※表中の▲は削減を表します。